

第3次羽生市子ども読書活動推進計画

令和3年3月
羽生市教育委員会

は じ め に

「四里の道は長かった。その間に青縞の市の立つ羽生の町があった。……。」
明治の文豪、田山花袋の名作『田舎教師』の書き出しは、羽生の自然や風物、人間模様を描いており、私たちの心の中のふるさと羽生を象徴した貴重な作品となっています。

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであります。しかし、最近の子どもたちを取り巻く社会環境の変化による「活字離れ」「読書離れ」は、大きな課題となっており、社会全体で読書活動の推進に取り組むことが必要となってきました。このような現状を踏まえ、本市では平成23年3月に「羽生市子ども読書活動推進計画」を、平成28年3月には「第2次羽生市子ども読書活動推進計画」を策定し、様々な取組を進めてまいりました。

このたび、第1次計画の基本方針を引き継ぎながら、これまでの成果と課題を踏まえて第2次計画の見直しを図り、令和3年度から5年間の方針をまとめた「第3次羽生市子ども読書活動推進計画」を策定しました。家庭や学校、図書館、地域等の社会全体で、本市のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができ、子ども自身が読書の良さを知ることができるよう、市民と一体となって本計画に沿って取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、この計画の策定にあたりまして、貴重なご提言をいただきました「第3次羽生市子ども読書活動推進計画策定委員会」の委員の皆様をはじめ、ご協力をいただきました多くの方々に心から感謝申し上げます。

令和3年3月

羽生市教育委員会教育長 秋 本 文 子

目 次

第1章 計画策定の趣旨

1	子どもの読書活動の意義	1
2	計画策定の背景	1
3	計画の対象	1
4	計画の期間	2
5	計画の位置づけ	2

第2章 第3次羽生市子ども読書活動推進計画の基本方針

1	基本方針	3
	(1) 家庭・地域における読書活動の推進	
	(2) 学校等における読書活動の推進	
	(3) 図書館における読書活動の推進	
	(4) 子どもの個性に合った読書活動の推進	
	(5) 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進と推進体制の整備	
2	財政上の措置	4

第3章 第2次計画における取組結果及び課題

1	家庭・地域・学校等で子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実	5
	(1) 家庭における読書機会の提供と環境の充実	
	(2) 市立図書館における読書機会の提供と環境の整備・充実	
	(3) 学校等における読書機会の提供と環境の整備・充実	
	(4) 地域における読書機会の提供と環境の整備・充実	
2	子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進	11
3	子どもが読書に親しむための推進体制の整備	11

第4章 数値目標	13
----------------	----

第5章 子どもの読書活動推進のための取組

1 家庭・地域における読書活動の推進	16
(1) 家庭における読書活動の推進	
(2) 地域における読書活動の推進	
2 学校等における読書活動の推進	17
(1) 保育園（所）・認定こども園・幼稚園の読書活動の推進	
(2) 小学校、中学校の読書活動の推進	
3 図書館における読書活動の推進	19
4 子どもの個性に合った読書活動の推進	20
5 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進と推進体制の整備 ...	21

用語の解説	22
-------------	----

【資料編】

1 アンケート調査の集計結果	
(1) 市内保育園（所）・認定こども園・幼稚園を利用している乳幼児 の保護者へのアンケート調査結果.....	25
(2) 小中学生へのアンケート調査結果.....	29
2 子どもの読書活動の推進に関する法律.....	34
3 羽生市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱.....	37
4 第3次羽生市子ども読書活動推進計画策定委員.....	39
5 第3次羽生市子ども読書活動推進計画策定経緯.....	39

第1章 計画策定の趣旨

1 子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で、欠くことのできないものです。

近年、スマートフォンやSNS等の普及によるコミュニケーションツールの多様化や新しい生活様式による生活環境など、子どもたちを取り巻く社会環境の変化により、子どもの本離れや読書力の低下などが指摘されています。

こうした中、すべての子どもたちが読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を身に付け、表現力や創造力、豊かな心を育むために子どもの読書環境の整備を推進していきます。

2 計画策定の背景

国は、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定し、読書環境の整備や読書活動の推進は国や地方自治体の責務であることを明記しました。そしてこの法律に基づき、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定し、その後改定を重ね、平成30年4月に第四次計画を策定しました。

また、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の第9条に、都道府県や市町村は「子ども読書活動推進計画」を策定するよう努めなければならないことが明記されていることから、県は平成16年3月に「埼玉県子ども読書活動推進計画」を策定し、その後改定を重ね、平成31年3月に第四次計画を策定しました。

羽生市では、平成23年3月に「羽生市子ども読書活動推進計画」を、平成28年3月には「第2次羽生市子ども読書活動推進計画」（以下「第2次計画」という。）を策定し、子どもの読書環境の整備、充実に努めました。令和3年3月をもって第2次計画の計画期間である5年間の終了することから、これまでの成果を検証するとともに、家庭や学校、図書館、地域等の社会全体で子どもの自主的な読書活動を支える環境を整えるため、「第3次羽生市子ども読書活動推進計画」を策定するものです。

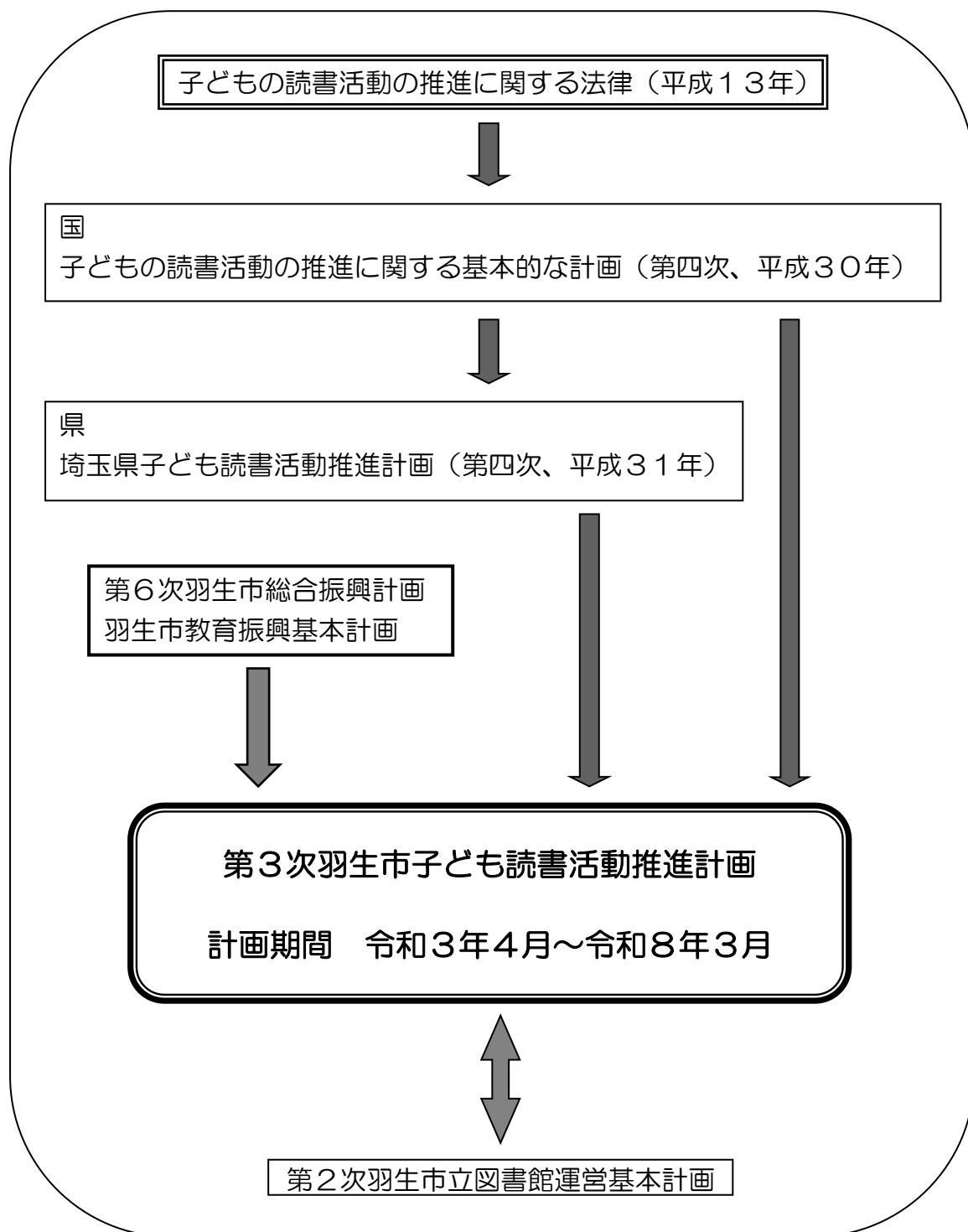
3 計画の対象

おおむね18歳以下の子どもを対象とします。また、子どもの読書活動に関わるすべての市民や地域、学校、行政、関係機関も対象としています。

4 計画の期間

令和3年4月から令和8年3月までの5年間とします。なお、国、県の動向及び社会環境の変化に応じて検討し、適宜見直しを行います。

5 計画の位置づけ



第2章 第3次羽生市子ども読書活動推進計画の基本方針

1 基本方針

すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動ができるよう本計画の基本方針を次のとおりとします。そして、羽生市のすべての子どもの読書活動の充実に努めるため、様々な施策に取り組んでいきます。

(1) 家庭・地域における読書活動の推進

家庭や地域で読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだりするなど、子どもが本を好きになるきっかけ、保護者が読書に関心を持つきっかけとなる機会を提供します。

(2) 学校等における読書活動の推進

子どもたちが発達段階に応じて、絵本や物語等に親しみ、想像力や表現力を豊かにできる環境を整備します。また、園児、児童、生徒が自主的、自発的に読書活動ができるよう、読書に親しむ機会の充実と環境の整備を図ります。

(3) 図書館における読書活動の推進

子どもたちが読書を通して豊かな心を育み健やかに成長できるよう、図書館は関係機関と連携して、「読書の楽しさ」「知ることの喜び」を感じる事業の充実を図ります。

(4) 子どもの個性に合った読書活動の推進

障がいの程度や、日本語を母国語としないなど、読み書きに特別な支援を必要とする子どもたち一人ひとりの特性を考慮した支援に努めます。

(5) 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進と推進体制の整備

家庭、地域、保育園（所）・認定こども園・幼稚園、学校、図書館をはじめとする関係行政機関、民間団体等が相互に連携協力し、子どもの読書活動に関する総合的な啓発と本計画の周知を図り、推進体制の整備に努めます。

2 財政上の措置

本計画に掲げる各種施策を実施するために、その役割に応じて必要な財政上の措置を講ずるよう努めます。また、本計画の推進のため、役割に応じて必要な財政上の措置を講ずるよう、国や県に働きかけます。

第3章 第2次計画における取組結果及び課題

- 1 家庭・地域・学校等で子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実
 ※根拠となる数値は、【資料編】アンケート調査の集計結果によります。

(1) 家庭における読書機会の提供と環境の充実

ア 数値目標達成状況

不読率（小・中学生）

…過去1カ月間の読書冊数が0冊の子どもの割合

平成27年度	目標値	令和2年度
小学生 4.5%	小学生 2.0%	小学生 5.6%
中学生 9.8%	中学生 5.0%	中学生 5.0%

1カ月間に5冊以上本を読む子どもの割合（小・中学生）

平成27年度	目標値	令和2年度
小学生 46.0%	小学生 50.0%	小学生 46.8%
中学生 12.6%	中学生 15.0%	中学生 23.6%

週1回以上本を読み聞かせする保護者の割合（未就学児の保護者）

平成27年度	目標値	令和2年度
73.7%	80.0%	65.5%

家庭に「おうち図書館」を設置している保護者の割合（未就学児の保護者）

平成27年度	目標値	令和2年度
—	60.0%	95.5%

イ 取組状況

○家庭での読書習慣を身につけるよう、子どもの目のつくところ、手の届くところに、子どものための本がある環境（おうち図書館）を推奨しました。

○市立図書館では、乳幼児が本に出合えるきっかけとなるブックスタート^{*1}事業を保健センターにおいて実施しました。

○市立図書館と一部の公民館において、ボランティアと協力し、「おはなし会^{*2}」を開催しました。

○保育園（所）・認定こども園・幼稚園において、家庭への絵本の貸し出しを実施しました。また、保育士や幼稚園教諭による読み聞かせ講座や、

絵本の紹介などの啓発を行いました。

ウ 現状と課題

小中学生へのアンケートによると、読書冊数が0冊である割合が前回調査と比べて小学生では1.1ポイント増となり、中学生では4.8ポイント減となっています。また、1か月に5冊以上本を読んでいる割合は前回調査と比べて、小学生ではほぼ前回調査比同様であるのに対し、中学生では11.0ポイント増となっており、中学生の読書率は改善されてきています。

なお、過去1ヶ月で1冊も読まなかった理由では、本を読む習慣がない、読みたい本がない・みつからない、読書に対する興味がないという意見があります。読書習慣を身に付けるきっかけや働きかけが課題となります。

保育園（所）・認定こども園・幼稚園を利用している保護者へのアンケートによると、回答数の98.2%が読み聞かせの経験があり、また65.5%が週1回以上の読み聞かせを行っています。「本を読んであげること」が子どもにとって大事なことを十分認識していることが分かります。一方、週1回以上本を読み聞かせする割合は、前回調査と比べて8.2ポイント減となっており、読み聞かせの重要性を理解していながらも、読み聞かせをすることが出来ないといった現状がうかがえます。

子どもが進んで読書をするには、保護者の読書に対する意識と保護者自身の読書や子どもへの読み聞かせが重要であることが分かります。このことから、保護者をも巻き込んだ読書習慣、子どもが家庭で読書に親しむ環境を整えられるよう啓発していくことが課題となっています。

(2) 市立図書館における読書機会の提供と環境の整備・充実

ア 数値目標達成状況

市立図書館の児童向け図書の蔵書冊数

平成27年度	目標値	令和元年度※
56,020冊	58,000冊	58,256冊

※他の数値目標項目との整合性を図るため、令和元年度の数値といたします。

市立図書館の児童向け図書の貸出冊数

平成26年度	目標値	令和元年度※
79,314冊	81,000冊	88,933冊

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

市立図書館が実施した団体貸出※³の学校数

平成26年度	目標値	令和元年度※
小学校 11校 中学校 0校	小学校 11校 中学校 3校	小学校 11校 中学校 0校

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

市立図書館が実施した団体貸出の公民館数

平成27年度	目標値	令和元年度※
2館	9館	1館

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

市立図書館が団体貸出を実施した保育園（所）・認定こども園・幼稚園の割合

平成26年度	目標値	令和元年度※
10.0%	50.0%	7.7%

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

市立図書館で実施するおはなし会の年間延べ参加人数

平成26年度	目標値	令和元年度※
1,038人	1,300人	1,153人

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

イ 取組状況

- 年齢や季節に応じた「おはなし会」を継続して実施しました。
- 図書紹介リーフレットを、図書館、学校、保育園（所）、認定こども園、幼稚園を通じて配布しました。
- 子どもたちの知的欲求を満たす魅力のある良質な本やヤングアダルト図書※⁴の選定、収集を行いました。
- 障がいに応じた点字資料などの資料や日本語を母国語としない子どもに向けた外国語図書の充実を行いました。
- 毎月第1・3金曜日の「ちいさなおはなし会※²」の前後の時間を、読み聞かせスペースとして開放いたしました。

ウ 現状と課題

保健センターで毎月実施している10か月児健康診断に合わせ、絵本のプレゼントやお勧め絵本のリスト、図書館利用案内などを配布する「ブックスタート」事業を実施するとともに、乳幼児と保護者のための「ちいさ

なおはなし会」を定期的を開催しています。

しかし、保護者へのアンケートによると、市立図書館で子どもの絵本や紙芝居を借りたことがある保護者は、56.1%と半数以上ですが、前回調査時の61.7%より5.6ポイント減となりました。おはなし会などに参加したことがある保護者は前回調査時の29.9%より1.6ポイント減の28.3%となっています。また、55.2%と半数以上の保護者が市立図書館にあまり子どもを連れて行かないと答えており、日常的に図書館を利用していないことが分かります。

また、小中学生のアンケートより市立図書館に行かない理由として、「場所が分からない 13.5%」、「遠いので1人で行くことができない 25.7%」、「家族や友人に誘われることがない 15.7%」と3つの理由の合計が54.9%となっており、前回調査時の29.7%より25.7ポイント増となっております。

保護者と子ども両者の利用増につながるさらなる啓発が課題となります。

(3) 学校等における読書機会の提供と環境の整備・充実

ア 数値目標達成状況

子どもの読書活動推進ための研修を内部で実施、または外部研修へ参加した保育園（所）・認定こども園・幼稚園の割合

平成26年度	目標値	令和元年度※
14.3%	30.0%	15.4%

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

家庭への図書貸出を実施している保育園（所）・認定こども園・幼稚園の割合

平成27年度	目標値	令和元年度
30.0%	50.0%	53.8%※

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

朝読書、読み聞かせの活動を実施している学校数

・朝読書

平成27年度	目標値	令和元年度※
小学校 11校 中学校 3校	小学校 11校 中学校 3校	小学校 11校 中学校 3校

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

・読み聞かせ

平成 27 年度	目標値	令和元年度※
小学校 11 校 中学校 0 校	小学校 11 校 中学校 3 校	小学校 11 校 中学校 0 校

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

学校図書館の図書標準（文部科学省が定める基準）を達成する学校数

平成 26 年度	目標値	令和元年度※
3 校	14 校	小学校 9 校 中学校 2 校

※令和 2 年 3 月 31 日現在の数値となります。

イ 取組状況

○年齢に応じた絵本や紙芝居等を取り入れた保育を継続、実施しています。また、保護者が集まる機会に家庭での読み聞かせを推進しています。

○保育園（所）・認定こども園・幼稚園では、限られた図書スペースの中で季節ごとのレイアウトやお勧めの絵本、子どもたちが手に取りやすい配置など工夫をしています。

○小中学校の授業で読書指導や学校図書館活用のための年間指導計画を作成し、学年や時期による計画に基づいた取組をしています。

○小中学校で一斉読書や図書ボランティアの協力による読み聞かせなどを実施しています。

○中学校への進学後に子どもの読書量が減らないよう、読書の日や読書週間、読書月間、読書貯金など学校ごとに特色ある取組を実施しております。

○司書教諭と学校図書館司書が連携し、学校図書館の活性化に取り組んでいます。また、学校司書による専門性を活かした学習や教科関連図書の選定や収集に努めました。

○学校図書の図書標準を 11 校で達成いたしました。

○障がいのある子どもへの読書指導を進められるように、DAYS Y 図書※⁵や拡大図書等の収集を 5 校（令和 2 年度）で実施しています。

ウ 現状と課題

保育園（所）・認定こども園・幼稚園において、絵本や紙芝居の読み聞かせが継続的に実施され、教室や保育室内には図書コーナーを設置しています。子どもたちが身近に絵本を親しむことができる環境にいることがう

かがえます。

しかし、図書コーナーのスペースは限られており、各園（所）の実情に合った工夫が求められます。読み手のさらなる技術向上のため、本の選択や読み聞かせに関連した研修の機会を設ける必要があります。

また、小中学生へのアンケートでは、学校の一斉読書をきっかけとして、本を読む時間や回数が増えた小中学生は小学校、中学校とも半数以上であり、一斉読書の効果が見られます。また、子どもたちの読書意欲を喚起するよう、各校特色のある取組を実践しています。

しかし、全体では小学生から中学生への過程で本を読まなくなっていることが分かります。そして、どのように小中学生の読書活動を支援していくかが課題となっています。

（４）地域における読書機会の提供と環境の整備・充実

ア 数値目標達成状況

公民館での親子が参加できるおはなし会等の実施館数

平成２７年度	目標値	令和元年度※
６館	９館	４館

※令和２年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

イ 取組状況

○ボランティア等の協力を得ながら、４公民館でおはなし会等を開催いたしました。

○７公民館でボランティアによる図書室での子どもたちへの本の貸出しを行っています。また、図書ボランティアによる紹介コーナーを設置するなど来館者が気軽に本に触れられる環境をつくりました。

○市庁舎１階ロビーに本棚を設置し、子どもたちが気軽に本を手にとれる環境となっています。

ウ 現状と課題

すべての公民館では、地域のボランティアの協力により図書室を運営しています。

課題として、おはなし会や読み聞かせを実施する公民館の増加が挙げられます。

また、小中学生のアンケートより市立図書館に行かない理由として、「場所が分からない １３．５％」、「遠いので１人で行くことができない ２５．７％」、「家族や友人に誘われることがない １５．７％」３

つの理由の合計が54.9%となっており、前回調査時の29.7%より25.7ポイント増えており、子どもたちの身近な距離に読書できる施設がないことが読み取れます。【再掲】

読書環境の整備を推進するうえで、子どもたちが歩いていける距離に読書できる施設として、公民館図書室の周知等が課題となっています。

2 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

ア 取組状況

○市立図書館では子どもたちに本への興味を持ってもらうため、本と子どもたちを結び付けるような季節ごとのイベントやおはなし会等を開催しました。また、イベントの案内やおすすめの本を紹介する「図書館だより」を作成し、保育園（所）・認定こども園・幼稚園、小中学校に定期的に配布し、図書館の利用を働きかけました。

○小中学校では、「子ども読書の日^{※6}」、「子ども読書週間^{※7}」に関連付け、「読書祭り」や「読書月間」を設け、家庭での読書を呼びかけ、子ども読書の普及・啓発に努めました。

○保育園（所）・認定こども園・幼稚園で、園だより等での絵本の紹介や読書に関するお知らせをしており、また、保護者が集まる機会を利用して読み聞かせの指導や子ども読書の普及・啓発を行っています。

イ 現状と課題

積極的に読書活動を行う意欲を高めるために様々なイベントや啓発・広報活動を行いました。

今後も子どもたちが主体的に参加して楽しみながら読書に親しむことのできる事業を実施するために、様々な方法を検討する必要がある、また、読書習慣をつけるための要となる保護者への働きかけが課題となります。

3 子どもが読書に親しむための推進体制の整備

ア 取組状況

○図書館職員による小学校3学年への学校訪問で、本の紹介や図書館の利用案内を実施しました。

○ボランティア団体によるブックトーク^{※8}を8校（令和2年度）で実施しました。

○市立図書館に来館した児童・生徒へ、図書館の案内、館内見学、職場体験を実施いたしました。

○市立図書館から全小学校の学校図書館への団体貸出を実施しました。また、保育園（所）・認定こども園・幼稚園や公民館の要望に応じ団体貸出を実施しました。

○市立図書館において、紙芝居や読み聞かせの講座を実施しました。

イ 現状と課題

地域のボランティアの協力により公民館図書室を運営しており、おはなし会や読み聞かせを実施しています。

遠方などの理由により市立図書館へ行く機会の少ない子どもに向けて、地域の身近なところに、読書ができる環境を整備していくことが重要であることから、おはなし会を実施する公民館の増加及び公民館図書室の周知が今後の課題となります。

第4章 数値目標

「第3次羽生市子ども読書活動推進計画」では、目標達成の基準となる数字の指標を下記のとおり設定いたします。

1 不読率（小・中学生）

目標項目	現 状 (令和2年度)	目 標 (令和7年度)
子ども読書アンケートで過去1カ月間の読書冊数が0冊の子どもの割合	小学生 5.6% 中学生 5.0%	小学生 3.6% 中学生 3.3%

2 1カ月間に5冊以上本を読む子どもの割合（小・中学生）

目標項目	現 状 (令和2年度)	目 標 (令和7年度)
子ども読書アンケートで過去1カ月間に5冊以上本を読んだ子どもの割合	小学生 46.8% 中学生 23.6%	小学生 56.1% 中学生 28.3%

3 週1回以上本を読み聞かせする保護者の割合（未就学児の保護者）

目標項目	現 状 (令和2年度)	目 標 (令和7年度)
子ども読書アンケートで週1回以上本を読み聞かせする保護者の割合	65.5%	78.7%

4 家庭に子どものための本（おうち図書館）が家庭にある保護者の割合（未就学児の保護者）

目標項目	現 状 (令和2年度)	目 標 (令和7年度)
子ども読書アンケートで家に子どものための本や書棚を設置している保護者の割合	95.5%	100%

5 幼稚園教諭・認定こども園教諭・保育士の子どもの読書活動推進に向けた研修の実施・参加率

目標項目	現 状 (令和元年度※)	目 標 (令和7年度)
研修を内部で実施、または外部研修へ参加した幼稚園・認定こども園・保育園（所）の割合	15.4%	18.4%

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

6 保育園（所）・認定こども園・幼稚園の図書貸出実施園（所）数

目標項目	現 状 (令和元年度※)	目 標 (令和7年度)
家庭への図書貸出を実施している保育園（所）・認定こども園・幼稚園の園（所）数	7 園（所）	13 園（所）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

7 保育園（所）・認定こども園・幼稚園での年齢に応じた絵本や紙芝居を取り入れた保育の実施園（所）数

目標項目	現 状 (令和元年度※)	目 標 (令和7年度)
年齢に応じた絵本や紙芝居を取り入れた保育の実施数	12 園（所）	13 園（所）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

8 朝読書、読み聞かせの活動を実施している学校数

・朝読書

現 状 (令和元年度※)	目 標 (令和7年度)
小学校 11校 中学校 3校	小学校 11校 中学校 3校

・読み聞かせ

現 状 (令和元年度※)	目 標 (令和7年度)
小学校 11校 中学校 0校	小学校 11校 中学校 3校

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

9 図書標準を達成している学校数

目標項目	現 状 (令和元年度※)	目 標 (令和7年度)
学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、文部科学省が定める基準を達成する学校数	11校	14校

※他の数値目標項目との整合性を図るため、令和元年度の数値といたします。

10 市立図書館児童書貸出冊数

目標項目	現 状 (令和元年度※)	目 標 (令和7年度)
市立図書館の児童向け図書の貸出冊数	88,933冊	90,000冊

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

11 市立図書館が実施した団体貸出実施数（年間延数）

目標項目	現 状 (令和元年度※)	目 標 (令和 7 年度)
利用団体数	2 2 団体	2 6 団体

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

12 市立図書館が実施した保育園（所）・認定こども園・幼稚園、小中学校、公民館への団体貸出実施数

目標項目	現 状 (令和元年度※)	目 標 (令和 7 年度)
保育園（所）・認定こども園・幼稚園	1 園（所）	1 3 園（所）
小中学校	1 1 校	1 4 校
公民館	1 館	9 館

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

13 市立図書館おはなし会等参加人数

目標項目	現 状 (令和元年度※)	目 標 (令和 7 年度)
市立図書館で実施するおはなし会等の年間延べ参加人数	1, 1 5 3 人	1, 3 8 0 人

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

14 公民館での親子が参加できるおはなし会等の実施館数

目標項目	現 状 (令和元年度※)	目 標 (令和 7 年度)
公民館での親子が参加できるおはなし会等の実施館数	4 館	9 館

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症による影響のため、令和元年度の数値といたします。

第5章 子どもの読書活動推進のための取組

1 家庭・地域における読書活動の推進

(1) 家庭における読書活動の推進

①ブックスタート事業

乳幼児期は、読書活動の入り口にあたる重要な時期です。その時期におけるブックスタート事業は、絵本を通して乳幼児と保護者の絆を深めるとともに、保護者へ読書活動の推進を働きかけ、子どもの読書習慣の早期確立につながります。今後も本事業を継続します。

②家読（うちどく）※⁹の推進

家族で同じ本を読んだり、本の感想等を家族で話し合ったりする機会が増えるよう家庭内での「家読の日」の設定を推進していきます。

③おうち図書館の推進

子どもが家庭で自主的に読書活動に励み、家庭での読書習慣を身につけるためには、子どもの目のつくところ、手の届くところに子どものための本がある必要があることから、引き続き「おうち図書館」を推進していきます。

④セカンドブック※¹⁰事業

幼少期から本に親しみ、生涯を通じた読書習慣につなげられるよう、3歳児健診時に子どもへ本を贈る「セカンドブック事業」を実施します。

(2) 地域における読書活動の推進

①親子おはなし会の情報提供、利用促進

読み聞かせボランティア団体と連携して、乳幼児とその保護者を対象とする「親子おはなし会」を継続して実施し、保護者と子どもが一緒に本に触れられる機会を提供します。また、おはなし会への参加を促します。

②地域での団体貸出の推奨

公民館や子どもに関する施設で、市立図書館の団体貸出を利用するなどして、子どもたちの身近に本がある環境づくりを進めます。

2 学校等における読書活動の推進

(1) 保育園（所）・認定こども園・幼稚園の読書活動の推進

①年齢に応じた絵本や紙芝居等を取り入れた保育の継続、充実

年齢に応じて絵本や紙芝居等を取り入れた保育を引き続き行い、充実させていきます。また、図書館の絵本や紙芝居の団体貸出の利用を促進し、子どもたちの周りに本がある環境づくりに努めます。

②保護者への広報、啓発

保護者だよりなどの媒体を活用して、乳幼児期からの読書や読み聞かせの大切さと各園（所）の取組を伝え、子どもの読書活動の習慣化につなげるよう啓発します。また、読書活動に関する情報を保護者へ発信し、おはなし会や読み聞かせ講座への参加を促します。

③家庭への絵本の貸出しの実施

家庭への絵本の貸し出しを可能とする体制を継続、推進いたします。また、保護者が園（所）に集まる機会を利用して、保育士や幼稚園教諭による読み聞かせ講座や、絵本の紹介などの啓発を行います。

④保育士等の研修への参加

保育士や幼稚園教諭による絵本や紙芝居の読み聞かせのスキルアップのため、県や市で開催する研修会などへの参加を促します。

⑤小中学校との連携

小中学校との連携を強化し、小中学校進学後に子どもの読書量が減らないような取組を実施します。

(2) 小学校、中学校の読書活動の推進

①小中学校の読書を習慣化する取組

朝読書、読み聞かせ、ブックトーク、ビブリオバトル^{※11}等の各学校の特色ある取組を継続して実施し、子どもたちの読書への関心や意欲を高め、本を読まない子どもの割合を減らすとともに、子どもの読書量の増加を目指します。

②学校図書館の読書・学習・情報センターとしての充実

学校図書館司書による専門性を活かした助言を受けながら、総合的な学習の時間や調べ学習などでの積極的な活用を図ります。また、司書教諭

と学校図書館司書の連携を活かし、本の展示の工夫や紹介など、児童・生徒が読書に親しむことができるよう学校図書館の整備や読書活動の活性化に努めます。

③学校図書館の蔵書管理、充実及び市立図書館の活用の推進

子どもたちの様々な興味、関心に応えるため、学校図書館司書の助言を受けながら、学校図書館の蔵書の管理、充実に努め、学校図書^{※12}の図書標準^{※12}達成を目指します。

また、小中学校での市立図書館の団体貸出の利用促進を推進いたします。

④学校図書館管理システムの活用

学校図書館管理システムを活用し効率的な図書の管理を行い、適切な図書資料の充実を図ります。また、貸出しデータを使った読書指導を行い、学校間の相互貸借の利用を促進します。

⑤読書活動に関する広報等による保護者への啓発

学校だよりや保護者を対象とした講座などを通じて、学校での読書活動の様子を伝えて、子どもの読書活動の習慣化につなげるよう啓発します。

また、読書活動に関する情報を保護者へ発信し、学校と家庭が連携を図り、子どもたちの効果的な読書活動を推進します。

⑥読書活動に支援が必要な子どもに対する読書活動の推進

読書活動に支援が必要な子どもたちの状況や個性などを踏まえて読書指導を進められるように取り組みます。また、障がい等の状態に応じた環境整備と資料の充実に努めます。

⑦保育園（所）・認定こども園・幼稚園、小中学校との連携

保育園（所）・認定こども園・幼稚園と小学校の連携及び小学校と中学校の連携を強化し、進学後に子どもの読書量が減らない取組を実施します。

⑧学校図書館司書、教職員の研修への参加

学校図書館司書、司書教諭を含む教職員の資質向上のための研修への参加を促します。

3 図書館における読書活動の推進

①多様な図書館資料の充実

子どもたちの図書館利用を促進するため、興味や関心が本に結びつくような展示やイベント、講座等により、知ることの喜びと読書の楽しさを感じるきっかけづくりを実施します。また、児童向け図書の蔵書を整理し、現在の蔵書数を維持、ヤングアダルト図書の選定、収集等の充実を図ります。

②県内公立図書館との相互貸借制度^{※13}を活用した利用環境の充実

県内公立図書館、国立国会図書館、大学図書館など関係機関との連携を強化し、子どもたちのニーズに対応できる体制づくりを推進します。

③図書館の利用拡大と読書に対する意識啓発

親子が気軽に参加できる講座やおはなし会などの開催によって、来館を促し、身近な存在の図書館として利用拡大を図ります。また、読書離れが指摘される小中学生の年代が求める資料を整備し、本に対する興味を喚起します。

④親子で参加できるイベントの開催

乳幼児の本に親しむ機会を積極的に提供するため、ちいさなおはなし会をはじめとする親子で参加できる事業を開催し、読書の楽しさを子どもたちに伝えます。また、親子で読み聞かせができるスペースを開放いたします。

⑤保育園（所）・認定こども園・幼稚園、小中学校、公民館等への団体貸出の推進

図書の団体貸出を推進することで、各施設の図書の充実を図り、子どもが気軽に本を手にとれるよう読書活動の活性化を目指します。

⑥社会科見学や職場体験等による図書館の理解促進

学校からの要望に応じて来館した子供たちに対し、図書館の案内や館内見学等を実施します。また、図書館の業務を体験する一日図書館職員を体験してもらうことで、図書館に親しむ機会を提供し、読書への関心を高めます。

⑦読書活動の困難な子どもへの支援

大活字本^{※14}、点字資料、DAYSY図書、LLブック^{※15}等の障がいのある子どもに対する資料の整備を行います。また、文化や言語の違いから読書活動が困難となっている子どもに向けて外国語図書の収集に努めます。

⑧ボランティアとの連携

おはなし会やイベントの協力などに加え、障がいのある子どもたちへのサービスなどにおいても活動できる体制づくりを進めます。また、読み聞かせ等を希望する保育園（所）・認定こども園・幼稚園、小中学校や地域等へボランティア団体の情報提供を図ります。

⑨市内小中学校との連携

学校図書館の活性化を図り、子どもたちの読書力と学習力の向上に寄与するため、図書館と学校の連携強化に取り組みます。また、学校図書館担当者や学校司書との積極的な情報交換に努め、教職員の資料選定に対する情報提供や子どもの調べ学習や自主学習の支援、学校への団体貸出の環境整備等を推進します。

4 子どもの個性に合った読書活動の推進

①読書活動の困難な子どもへの支援【再掲】

大活字本、点字資料、DAYSY図書、LLブック等の障がいのある子どもに対する資料の整備を行います。また、文化や言語の違いから読書活動が困難となっている子どもたちに向けて外国語図書の収集に努めます。

②県立図書館等との連携（相互貸借等）

県内公立図書館などと連携を図り、各種サービスの紹介や相互貸借により、障がいのある子どもの読書活動の支援に努めます。

③りんごの棚^{※16}の設置

障がいの有無にかかわらず、すべての子どもたちに読書の喜びや楽しみを体験してもらえるようりんごの棚の設置を推進します。

5 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進と推進体制の整備

①子ども読書の日等の普及

「子ども読書の日」、「子ども読書週間」に関連付けた広報、イベントを引き続き開催し、子ども読書活動の意義や重要性について、広く啓発、広報を行います。

②子どもの読書活動に関する情報の発信

子どもたちが多様な本に出合えるように、年齢に応じたブックリストなどを作成し、各施設へ配布するとともに、図書館ホームページや市広報や園だより、学校だより等の媒体を活用して、子どもの読書活動の啓発に努めます。特に保護者に重点を置き、家庭を巻き込んだ読書活動に関する広報を行い、保護者の子ども読書活動に対する理解を高めるなど、積極的な情報発信に努めます。

③関係機関との連携、相互協力の強化

団体貸出など、現在行っている取組の充実を図るとともに、図書館と保育園（所）・認定こども園・幼稚園、学校、公民館、子育て関連施設、読み聞かせボランティアなどと子どもの読書活動を推進するための交流、支援を行い、連携を深めます。

④図書館職員やボランティア団体による学校訪問（ブックトーク）の充実

図書館職員が小中学校を訪問し、本の紹介・図書館の利用案内を行います。また、ボランティア団体の協力により、学校の要望に応じて実施します。

⑤計画の進行管理

本計画を実行性のあるものとするため、第2次計画の目標達成状況や第3次計画アンケートの集計結果を関係各所へ周知するとともに、定期的に本計画の進捗状況を確認します。

『用語の解説』

※1 【ブックスタート】

赤ちゃんの言葉と心を育むため赤ちゃんと一緒に、絵本をとおしてあたたかなひとときを持つことを応援する活動。1992年にイギリスで始まった。羽生市では保健センターで実施している10か月児検診時に、子どもへの読み聞かせの方法や意義を説明し保護者に絵本を手渡す取組を実施。

※2 【(ちいさな) おはなし会】

子どもにお話を読んで聞かせ、子どもが本に親しむ機会を提供する。「おはなし会」は幼児・小学生を対象とし、「ちいさなおはなし会」は未就学児とその保護者を対象としている。

※3 【団体貸出】

団体利用者に対して、図書館資料を貸し出すこと。羽生市では、市内の施設、学校等で資料利用申込みのあった団体へ、本、雑誌あわせて一団体1ヶ月につき100冊貸し出している。

※4 【ヤングアダルト図書】

子どもから大人への転換期にあたる13歳から18歳の中高生代向けの図書。

※5 【DAYSY図書】

デジタル録音された音声による本。

※6 【子ども読書の日】

4月23日。国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」により制定。

※7 【こどもの読書週間】

4月23日～5月12日。公益社団法人読書推進運動協議会により制定。

※8【ブックトーク】

一定のテーマにそって数冊の本を複数の聞き手に紹介し、読書啓発と本の案内を行うもの。羽生市では図書館職員やボランティアが小学校を訪問し、本の面白さを伝える活動をしている。

※9【家読（うちどく）】

「家庭読書」「家族読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味する。家族で読みたい本を選び、同じ時間を家族で共有し、読んだ本について感じたことを話し合う活動。

※10【セカンドブック】

定期検診を受けた0歳児に絵本を手渡す「ブックスタート」に対し、子どもたち自身が読書の楽しさを知り、自発的な読書活動につながるきっかけ作りとして、実施年齢に応じたおすすめの本をブックスタートに続く2冊目の本として贈る事業。

※11【ビブリオバトル】

書評会発表者が、お薦めの本について一定の持ち時間でプレゼンテーションした後、参加者の多数決で一番読みたくなった本を決定する。

※12【図書標準】

文部科学省の定める「学校図書館図書標準」（文初小第209号平成5年3月29日文部省初等中等教育教育長通知）による学校図書館に整備すべき蔵書の標準。

※13【相互貸借制度】

図書館法第3条第1項第4号に基づき提供される図書館サービスのひとつ。他の図書館の所蔵資料を互いに貸借し活用することで単館での資料不足を補い、図書館利用者に対するサービスの向上を図るもの。

※14【大活字本】

弱視の方、高齢の方でも読みやすいように大きな活字を用い、行間等に配慮して組み直した本。通常1冊の本を数冊に分けて出版される。

※15【L Lブック】

L Lはスウェーデン語の Lattlast（レットラスト：読みやすい）の略称。知的障がいや発達障がいのある人などが読みやすいように、写真や絵、絵文字、記号などを用い短い言葉などで構成された本。北欧を中心に普及しており、日本でも障がい者の支援団体などが制作している。

※16【りんごの棚】

スウェーデンで生まれたインクルーシブな図書館サービスのひとつ。特別なニーズのある子どもに読書の喜びを知ってもらう取組。大活字本、点字資料、DAYSY図書、L Lブック等の障がいのある子どもに対する資料を中心に、障がいのある子どもが登場する絵本や大人向けに書かれた障がいを理解するための本も置かれている。

【 資 料 編 】

1 アンケート調査の集計結果

(1) 市内保育園（所）・認定こども園・幼稚園を利用している乳幼児の保護者へのアンケート調査結果

調査対象 市内保育園(所)・認定こども園・幼稚園を利用している乳幼児の保護者 1,040人
調査期間 令和2年9月9日(水)～令和2年9月25日(金)

※注意事項 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

子どもの年齢

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
0才	120	11.5%	10.5%	1.0%
1才	6	0.6%	▲4.6%	5.2%
2才	55	5.3%	▲8.0%	13.3%
3才	110	10.6%	▲1.7%	12.3%
4才	206	19.8%	▲4.9%	24.7%
5才	259	24.9%	2.5%	22.4%
6才	251	24.1%	8.5%	15.6%
無回答	33	3.2%	▲2.3%	5.5%
計	1040	100.0%	—	100.0%

質問1 あなたのお子さんは本を読んでいますか。

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
よく読んでいる	450	43.3%	▲7.7%	51.0%
あまり読んでいない	533	51.3%	9.7%	41.6%
まったく読んでいない	47	4.5%	▲1.3%	5.8%
無回答	10	1.0%	▲0.6%	1.6%
合計	1040	100.0%	—	100.0%

質問2 あなた(保護者)は、1ヶ月で本を何冊読みますか。

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
0冊	459	44.1%	4.2%	39.9%
1～2冊	387	37.2%	▲6.3%	43.5%
3～5冊	110	10.6%	0.9%	9.7%
6～9冊	23	2.2%	0.3%	1.9%
10冊以上	47	4.5%	0.6%	3.9%
無回答	14	1.3%	0.3%	1.0%
合計	1040	100.0%	—	100.0%

質問3 ご家庭でお子さんに絵本等を、読んであげた(読み聞かせをした)ことがありますか。

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
はい	1021	98.2%	▲0.9%	99.1%
いいえ	14	1.3%	0.4%	0.9%
無回答	5	0.5%	0.5%	0.0%
合計	1040	100.0%	—	100.0%

「2. いいえ」と答えた方にお聞きします。その理由についてお聞かせください。(複数回答可)

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
読んであげる時間がない	1	6.3%	▲27.0%	33.3%
子どもが嫌がる	1	6.3%	6.3%	0.0%
本がない	1	6.3%	6.3%	0.0%
自分が本を読む習慣がない	1	6.3%	▲27.0%	33.3%
テレビやビデオがあるから	1	6.3%	▲27.0%	33.3%
自分が読み聞かせをしてもらったことがない	1	6.3%	6.3%	0.0%
その他	1	6.3%	6.3%	0.0%
無回答	9	56.3%	56.3%	0.0%
合計	16	100.0%	—	100.0%

その他・記述 なし

質問4 初めて絵本等を読んであげたのは、お子さんが何歳くらいのときですか。

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
0歳	762	73.3%	20.1%	53.2%
1歳	176	16.9%	▲21.1%	38.0%
2歳	69	6.6%	1.5%	5.1%
3歳	20	1.9%	▲0.9%	2.8%
4歳	0	0.0%	0.0%	0.0%
5歳以上	2	0.2%	0.2%	0.0%
無回答	11	1.1%	0.2%	0.9%
合計	1040	100.0%	—	100.0%

質問5 読み聞かせを始めたきっかけは何ですか。

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
家族や友人知人にすすめられて	254	25.1%	4.1%	21.0%
テレビや雑誌等ですすめられて	128	12.7%	2.4%	10.3%
ブックスタートによって	169	16.7%	▲9.0%	25.7%
図書館や本屋のコーナーを見て	154	15.2%	0.5%	14.7%
保育園（所）・認定こども園・幼稚園で すすめられて	38	3.8%	1.8%	2.0%
その他	240	23.7%	1.0%	22.7%
無回答	28	2.8%	▲0.9%	3.7%
合計	1011	100.0%	—	100.0%

その他・記述

- ・上の子（兄・姉）にも0歳から読んであげていたから
 - ・自分が子どものころ、親に読んでもらっていたから
 - ・親子のコミュニケーションツールの一つとして
 - ・健診時にすすめられて
 - ・自分（保護者）が本が好きだったので
 - ・読み聞かせが大事だとおもっていたから
 - ・絵本をプレゼントされたため
 - ・寝る前の習慣にしたい
 - ・子どものころあまり読んでもらったことがなかったから読んであげたいと思った
- など

質問6 どれくらいの頻度で、読んであげますか。

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
毎日	168	16.2%	▲1.1%	17.3%
週に3・4回	193	18.6%	▲4.1%	22.7%
週に1・2回	318	30.7%	▲3.0%	33.7%
月に3回以下	295	28.5%	6.5%	22.0%
その他	46	4.4%	0.4%	4.0%
無回答	15	1.4%	1.1%	0.3%
合計	1035	100.0%	—	100.0%

その他・記述

- ・週5、6回
 - ・（最近）ほとんど読んでいない
 - ・子どもから要望があったとき（自分で読めるようになったので）
- など

質問7 1ヶ月で本を何冊読んであげていますか。（新設項目）

選択項目	回答数	構成比
1～2冊	397	38.2%
3～5冊	291	28.0%
6～9冊	118	11.3%
10冊以上	207	19.9%
無回答	27	2.6%
合計	1040	100.0%

質問8 お子さんの読む本は、どのようにして入手していますか。（複数回答可）

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
図書館で借りる	376	22.1%	▲6.2%	28.3%
書店で買う	779	45.7%	▲0.6%	46.3%
知人などからもらう（借りる）	305	17.9%	1.7%	16.2%
電子書籍を利用する	34	2.0%	1.3%	0.7%
その他	201	11.8%	3.7%	8.1%
無回答	9	0.5%	0.1%	0.4%
合計	1704	100.0%	—	100.0%

その他・記述

- ・園で定期購入
- ・インターネットで購入
- ・園（所）、公民館で借りる
- ・通信教育の教材
- ・上の子（兄・姉）の本

など

質問9 家庭にお子さんのための本がありますか。（新設項目）

選択項目	回答数	構成比
ある	993	95.5%
ない	11	1.1%
無回答	36	3.5%
合計	1040	100.0%

質問10 あなた（保護者）は、人に紹介したい本や、大切にしている本はありますか。（新設項目）

選択項目	回答数	構成比
はい	471	45.3%
いいえ	518	49.8%
無回答	51	4.9%
合計	1040	100.0%

質問11 本が好きなお子さんにするために、ご家庭で工夫されていることがありましたらご記入ください。（自由記入）

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
記述有り	452	43.5%	8.4%	35.1%
無回答	588	56.5%	▲8.4%	64.9%
合計	1040	100.0%	—	100.0%

主な記述

- ・子どもの目につきやすい場所、すぐ手に取れる場所に本を置く
- ・寝る前に絵本を読む、寝室に本を置いている
- ・親も一緒に本を読む
- ・本人が満足するまで何度でも繰り返し読んであげる
- ・読み聞かせの仕方を工夫する
- ・子どもが読んでほしい時にはすぐに応じる
- ・子どもが理解できるようにたまに内容を変えたり体をうごかしたりする
- ・子どもがわかりやすい言葉で簡潔に伝えたり、子どもの問いかけに答えながら読み聞かせを行っている

など

質問12 市立図書館や公民館等に子どもの絵本や紙芝居を借りに、行ったことがありますか。

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
はい	583	56.1%	▲5.6%	61.7%
いいえ	419	40.3%	3.0%	37.3%
無回答	38	3.7%	2.7%	1.0%
合計	1040	100.0%	—	100.0%

「1. はい」と答えた方にお聞きします。どこで子どもの絵本や紙芝居を借りたことがありますか。（複数回答可）（新設項目）

選択項目	回答数	構成比
市立図書館	573	93.9%
公民館	29	4.8%
その他	3	0.5%
無回答	5	0.8%
合計	610	100.0%

その他 記述 園（所）、他市町村の図書館

質問13 市立図書館に子どもを連れて行きますか。

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
よく行く	118	11.3%	▲5.6%	16.9%
たまに行く	307	29.5%	▲3.6%	33.1%
ほとんど行かない	574	55.2%	6.2%	49.0%
無回答	41	3.9%	2.9%	1.0%
合計	1040	100.0%	—	100.0%

質問14 市立図書館や公民館等で行っている「おはなし会」などに、参加したことがありますか。

選択項目	回答数	構成比	前回調査比	前回調査
はい	294	28.3%	▲1.6%	29.9%
いいえ	708	68.1%	▲1.1%	69.2%
無回答	38	3.7%	2.7%	1.0%
合計	1040	100.0%	—	100.0%

「1. はい」と答えた方にお聞きします。どこの「おはなし会」へ参加したことがありますか。（複数回答可）（新設項目）

選択項目	回答数	構成比
市立図書館	276	90.2%
公民館	19	6.2%
その他	7	2.3%
無回答	4	1.3%
計	306	100.0%

その他 記述

- ・他市町村の図書館
- ・他県の児童館
- ・子育て支援センターキャロット
- ・保育園

(2) 小中学生へのアンケート調査結果

調査対象 市内小中学生 811人（小学校5年生 412人 中学校2年生 399人）

調査期間 令和2年9月7日（月）～令和2年9月18日（金）

※注意事項 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

質問1 あなたは本を読むことが好きですか。

選択項目	総計		小学校		中学校		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
好き	311	38.3%	152	36.9%	159	39.8%	▲3.1%	41.4%
どちらかといえば好き	322	39.7%	170	41.3%	152	38.1%	3.6%	36.1%
どちらかといえばきらい	124	15.3%	69	16.7%	55	13.8%	0.6%	14.7%
きらい	54	6.7%	21	5.1%	33	8.3%	0.2%	6.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	▲1.2%	1.2%
合計	811	100.0%	412	100.0%	399	100.0%	—	100.0%

質問2 質問1で「3.どちらかといえばきらい、4.きらい」と答えた人にお聞きします。
その理由は何なんでしょうか？（いくつでも○印をつけられます。）（新設項目）

選択項目	総計		小学生		中学生	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
時間がない	17	8.3%	9	8.9%	8	7.6%
読みたい本がない	50	24.3%	24	23.8%	26	24.8%
読みたいという気持ちが出てこない	116	56.3%	54	53.5%	62	59.0%
その他	19	9.2%	11	10.9%	8	7.6%
無回答	4	1.9%	3	3.0%	1	1.0%
合計	206	100.0%	101	100.0%	105	100.0%

その他・記述

面倒くさい、読みたくない

質問3 あなたが小さいとき、家の人や保育所（園）、認定こども園、幼稚園の先生などに本を読んでもらったことがありますか。

選択項目	総計		小学校		中学校		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
よくあった	452	55.7%	219	53.2%	233	58.4%	2.5%	53.2%
たまにあった	218	26.9%	127	30.8%	91	22.8%	▲0.1%	27.0%
あまりなかった	23	2.8%	14	3.4%	9	2.3%	▲1.2%	4.0%
なかった	7	0.9%	5	1.2%	2	0.5%	▲0.1%	1.0%
おぼえていない	111	13.7%	47	11.4%	64	16.0%	▲0.1%	13.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	▲1.0%	1.0%
合計	811	100.0%	412	100.0%	399	100.0%	—	100.0%

質問4 あなたは、最近（1年くらい前～今日）家や学校などで読み聞かせをしてもらったことがありますか。

選択項目	総計		小学校		中学校		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
してもらったことがある	300	37.0%	269	65.3%	31	7.8%	▲8.0%	45.0%
してもらったことがない	321	39.6%	65	15.8%	256	64.2%	12.0%	27.6%
おぼえていない	185	22.8%	75	18.2%	110	27.6%	▲3.0%	25.8%
無回答	5	0.6%	3	0.7%	2	0.5%	▲1.1%	1.7%
合計	811	100.0%	412	100.0%	399	100.0%	—	100.0%

質問5 あなたは本を読むとき、どこで読むことが多いですか。（複数回答可）

選択項目	総計		小学校		中学校		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
教室	523	35.7%	227	29.3%	296	42.7%	6.1%	29.6%
学校の図書室	162	11.0%	130	16.8%	32	4.6%	▲2.0%	13.0%
図書館	119	8.1%	75	9.7%	44	6.3%	▲1.0%	9.1%
公民館	6	0.4%	4	0.5%	2	0.3%	▲0.2%	0.6%
自分の家	611	41.6%	316	40.8%	295	42.6%	▲2.9%	44.5%
友だちの家	22	1.5%	9	1.2%	13	1.9%	0.0%	1.5%
その他	23	1.6%	13	1.7%	10	1.4%	0.6%	1.0%
無回答	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	▲0.6%	0.7%
合計	1,467	100.0%	774	100.0%	693	100.0%	—	100.0%

その他・記述

・おばあちゃん家

質問6 あなたは本を読むとき、その本をどのようにして手に入れることが多いですか。（複数回答可）

選択項目	総計		小学生		中学生		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
家にある	363	21.7%	201	21.7%	162	21.8%	3.5%	18.2%
買う（買ってもらう）	628	37.6%	264	28.5%	364	48.9%	▲4.7%	42.3%
学校図書室で借りる	279	16.7%	245	26.5%	34	4.6%	2.6%	14.1%
市の図書館で借りる	229	13.7%	145	15.7%	84	11.3%	▲0.9%	14.6%
地域の公民館図書室で借りる	22	1.3%	16	1.7%	6	0.8%	0.1%	1.2%
友だちなどに借りる	136	8.1%	45	4.9%	91	12.2%	0.6%	7.5%
その他	10	0.6%	8	0.9%	2	0.3%	▲0.5%	1.1%
無回答	2	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	▲1.0%	1.1%
合計	1,669	100.0%	925	100.0%	744	100.0%	—	100.0%

その他・記述

・本を手に入れない、ケイタイで読む

質問7 あなたが、本を読むのはどうしてですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。（複数回答可）

選択項目	総計		小学生		中学生		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
知らないことがわかるから	319	20.1%	184	22.4%	135	17.7%	3.3%	16.8%
感動できるから	198	12.5%	75	9.1%	123	16.1%	6.9%	5.6%
楽しいから	492	31.0%	240	29.2%	252	33.0%	▲19.4%	50.4%
友だちとの話題づくりになるから	97	6.1%	52	6.3%	45	5.9%	3.0%	3.1%
考える力がつくから	223	14.1%	135	16.4%	88	11.5%	5.9%	8.2%
勉強に必要だから	154	9.7%	91	11.1%	63	8.3%	5.4%	4.3%
その他	100	6.3%	44	5.3%	56	7.3%	0.5%	5.8%
無回答	3	0.2%	2	0.2%	1	0.1%	▲5.4%	5.6%
合計	1,586	100.0%	823	100.0%	763	100.0%	—	100.0%

その他・記述

- ・感情移入できるから
- ・わからない
- ・あきないから
- ・好きなジャンルがそろっている
- ・好きなアニメの本だから

質問8 あなたはどんなきっかけで、本を読むことが多いですか。（複数回答可）

選択項目	総計		小学生		中学生		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
人にすすめられて	311	20.0%	152	19.7%	159	20.4%	1.9%	18.1%
図書館・学校図書室で見てももしろそうだったから	322	20.7%	240	31.1%	82	10.5%	▲0.9%	21.6%
図書館・学校図書室の推薦図書コーナーを見て	63	4.1%	48	6.2%	15	1.9%	▲2.5%	6.6%
本屋で見てももしろそうだったから	420	27.1%	175	22.7%	245	31.4%	▲3.0%	30.1%
テレビやラジオでももしろいと言っていたから	100	6.4%	40	5.2%	60	7.7%	0.3%	6.1%
インターネットで見てももしろそうだったから	197	12.7%	48	6.2%	149	19.1%	4.5%	8.2%
新聞(子ども新聞含む)で紹介されていたから	20	1.3%	14	1.8%	6	0.8%	—	2.7%
雑誌で紹介されていたから	43	2.8%	14	1.8%	29	3.7%	—	
その他	70	4.5%	38	4.9%	32	4.1%	▲1.4%	5.9%
無回答	6	0.4%	2	0.3%	4	0.5%	▲0.2%	0.6%
合計	1,552	100.0%	771	100.0%	781	100.0%	—	100.0%

その他・記述

- ・読書タイムだから
- ・きっかけがない
- ・ひまなとき
- ・親にすすめられて
- ・映画の本とか
- ・時間があいていたから
- ・友達の紹介だから

質問9 本を読むのに電子書籍(しょせき)を利用しますか。

選択項目	総計		小学生		中学生		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
よく利用する	77	9.5%	32	7.8%	45	11.3%	2.3%	7.2%
たまに利用する	150	18.5%	63	15.3%	87	21.8%	▲1.2%	19.7%
めったに利用しない	151	18.6%	71	17.2%	80	20.1%	▲3.7%	22.3%
利用したことがない	427	52.7%	243	59.0%	184	46.1%	4.5%	48.2%
無回答	6	0.7%	3	0.7%	3	0.8%	▲1.8%	2.5%
合計	811	100.0%	412	100.0%	399	100.0%	—	100.0%

質問10 あなたは最近1か月間に、本を何冊読みましたか（電子書籍(しょせき)も含みます）。読んでいる途中でも1冊に入れてください。

選択項目	総計		小学生		中学生		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
0冊	43	5.3%	23	5.6%	20	5.0%	▲1.9%	7.2%
1～2冊	270	33.3%	87	21.1%	183	45.9%	▲3.8%	37.1%
3～4冊	203	25.0%	104	25.2%	99	24.8%	▲0.9%	25.9%
5～6冊	84	10.4%	60	14.6%	24	6.0%	▲0.9%	11.3%
7～9冊	65	8.0%	44	10.7%	21	5.3%	1.3%	6.7%
10冊以上	138	17.0%	89	21.6%	49	12.3%	6.1%	10.9%
無回答	8	1.0%	5	1.2%	3	0.8%	0.1%	0.9%
合計	811	100.0%	412	100.0%	399	100.0%	—	100.0%

質問11 質問10で「1. 〇冊」と答えた人にお聞きします。（複数回答可）

選択項目	総計		小学生		中学生		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
クラブ活動で時間がない	3	4.3%	0	0.0%	3	8.6%	▲2.1%	6.4%
勉強や学習塾などで時間がない	6	8.7%	4	11.8%	2	5.7%	3.4%	5.3%
本を読む習慣がない	21	30.4%	8	23.5%	13	37.1%	10.2%	20.2%
読みたい本がない	19	27.5%	8	23.5%	11	31.4%	▲23.6%	51.1%
読みたい本が見つからない	13	18.8%	9	26.5%	4	11.4%	—	—
その他	7	10.1%	5	14.7%	2	5.7%	▲6.9%	17.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.0%
合計	69	100.0%	34	100.0%	35	100.0%	—	100.0%

その他・記述
・読みたくない

質問12 今までの学校での読書活動（「朝読書」「読書の時間」「ビブリオバトル」などのこと）をきっかけとして、本を読む時間や回数が増えましたか。

選択項目	総計		小学生		中学生		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
増えた	229	28.2%	93	22.6%	136	34.1%	▲0.2%	28.4%
やや増えた	262	32.3%	137	33.3%	125	31.3%	0.0%	32.3%
かわらない	277	34.2%	151	36.7%	126	31.6%	2.6%	31.6%
やや減った	12	1.5%	8	1.9%	4	1.0%	▲0.1%	1.6%
減った	16	2.0%	13	3.2%	3	0.8%	▲0.5%	2.5%
一斉読書をしたことがない	8	1.0%	7	1.7%	1	0.3%	0.3%	0.7%
無回答	7	0.9%	3	0.7%	4	1.0%	▲1.9%	2.8%
合計	811	100.0%	412	100.0%	399	100.0%	—	100.0%

質問13 あなたは、読んだ本について家族や友達と話し合ったり、すすめたりしていますか。
（新設項目）

選択項目	総計		小学生		中学生	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
はい	367	45.3%	193	46.8%	174	43.6%
いいえ	438	54.0%	217	52.7%	221	55.4%
無回答	6	0.7%	2	0.5%	4	1.0%
合計	811	100.0%	412	100.0%	399	100.0%

質問14 あなたは、人に紹介（しょうかい）したい本や、大切にしている本はありますか。
（新設項目）

選択項目	総計		小学生		中学生	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
はい	467	57.6%	256	62.1%	211	52.9%
いいえ	340	41.9%	155	37.6%	185	46.4%
無回答	4	0.5%	1	0.2%	3	0.8%
合計	811	100.0%	412	100.0%	399	100.0%

質問15 あなたは、市の図書館に行きますか。

選択項目	総計		小学生		中学生		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
よく行く	78	9.6%	59	14.3%	19	4.8%	▲4.3%	13.9%
たまに行く	434	53.5%	241	58.5%	193	48.4%	3.4%	50.1%
行かない	296	36.5%	110	26.7%	186	46.6%	1.8%	34.7%
無回答	3	0.4%	2	0.5%	1	0.3%	▲0.9%	1.3%
合計	811	100.0%	412	100.0%	399	100.0%	—	100.0%

質問16 質問15で「3. 行かない」と答えた人にお聞きします。あなたが、市の図書館に行かない理由を次の中から選んで下さい。（複数回答可）

選択項目	総計		小学生		中学生		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
場所がわからない	50	13.5%	31	21.7%	19	8.4%	4.8%	8.7%
遠いので1人で行くことができない	95	25.7%	49	34.3%	46	20.3%	9.9%	15.8%
クラブ活動や学習塾などで時間がない	67	18.1%	13	9.1%	54	23.8%	3.3%	14.8%
家族や友人に誘われることがない	58	15.7%	23	16.1%	35	15.4%	11.0%	4.7%
その他	99	26.8%	27	18.9%	72	31.7%	▲28.5%	55.3%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	1	0.4%	▲0.5%	0.8%
合計	370	100.0%	143	100.0%	227	100.0%	—	100.0%

その他・記述

- ・興味がないから
- ・返しに行くのが大変
- ・行きたくない、つまらない
- ・興味ない
- ・家にいろいろ本があるのでわざわざ行かない

質問17 学校の図書室や市の図書館などで本を借りるとき、どのような本を借りますか。（複数回答可）

選択項目	総計		小学生		中学生		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
小説・物語・伝記などの本	553	36.0%	272	31.3%	281	42.1%	4.9%	31.1%
学習に必要な、調べるための本	120	7.8%	58	6.7%	62	9.3%	▲1.7%	9.5%
料理やスポーツなど興味のある本	217	14.1%	127	14.6%	90	13.5%	▲6.5%	20.6%
理科・科学などの本	89	5.8%	68	7.8%	21	3.1%	0.4%	5.4%
美術、工作などの本	73	4.8%	57	6.6%	16	2.4%	1.2%	3.6%
仕事や職業など自分の将来に関する本	108	7.0%	68	7.8%	40	6.0%	2.9%	4.1%
マンガ	316	20.6%	188	21.7%	128	19.2%	4.3%	16.3%
その他	49	3.2%	28	3.2%	21	3.1%	▲3.9%	7.1%
無回答	11	0.7%	2	0.2%	9	1.3%	▲1.5%	2.2%
合計	1,536	100.0%	868	100.0%	668	100.0%	—	100.0%

その他・記述

- ・図鑑、昆虫の本、絵本、おもしろいもの
- ・借りる本がない

学校図書館や市立図書館への要望がありましたら、ご記入ください。（記述）

選択項目	総計		小学生		中学生		前回調査比	前回調査（総計） 構成比
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比		
記述有り	131	16.2%	71	17.2%	60	15.0%	0.6%	15.6%
無回答	680	83.8%	341	82.8%	339	85.0%	▲0.6%	84.4%
合計	811	100.0%	412	100.0%	399	100.0%	—	100.0%

○特に多い意見・要望

- ・貸出期間の延長
- ・開館時間の延長
- ・同時貸出可能冊数を増やしてほしい
- ・本の種類（シリーズなど）を増やしてほしい
- ・（特定のジャンルの）本の冊数を増やしてほしい

○その他の意見・要望

- ・破れているページを直してほしい
- ・新しい本や映画化されるなど人気の本を早く入れてほしい
- ・家の近くに図書館が欲しい、市内にあと2ヶ所図書館を増やしてほしい
- ・学習室を開けてもらいたい

2 子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成13年法律第154号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

- 2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

3 羽生市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

(令和2年教育委員会告示甲第9号)

(趣旨)

第一条 この要綱は、子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項の規定に基づき、羽生市子ども読書活動推進計画（以下「計画」という。）を策定し、及び評価するため、羽生市子ども読書活動推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置することに関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第二条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 計画の策定及び評価に関すること。
- (2) 子どもの読書活動を推進するために必要な事項に関すること。

(組織)

第三条 委員会は、委員9人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから羽生市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 児童福祉の関係者
- (4) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (5) 識見を有する者
- (6) 公募による市民

(報酬等)

第四条 委員の報酬及び費用弁償は、無償とする。

(任期)

第五条 委員の任期は、任命又は委嘱の日から計画の策定が完了するまでとする。

- 2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第六条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によってこれらを定めるものとする。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたと

きは、その職務を代理する。

（会議）

第七条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させることができる。

（庶務）

第八条 委員会の庶務は、生涯学習部生涯学習課において処理する。

（その他）

第九条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

4 第3次羽生市子ども読書活動推進計画策定委員

	氏 名	推 薦 団 体 等
◎	今 井 賢 司	羽生市教育研究会学校図書館研究部
	渡 邊 敦 仁	羽生市教育研究会学校図書館研究部
○	井 上 葉 子	羽生市立図書館協議会
	小 林 梨絵子	羽生市保育連絡協議会
	清 水 浩 美	羽生家庭教育サポートネット「キャロット」
	小 暮 明 美	羽生市民生委員・児童委員協議会
	高 橋 真 弓	羽生市民生委員・児童委員協議会
	土 屋 京 子	一般公募
	小 林 由美子	一般公募

◎委員長 ○副委員長

(敬称略)

5 第3次羽生市子ども読書活動推進計画策定経緯

開催年月日	審議内容
第1回会議 令和2年8月24日(月)	・正副委員長の選出 ・計画の概要について ・現況調査及びアンケートについて
アンケート調査 令和2年9月7日(月) ～令和2年9月18日(金)	対象者 ・小学校5年生 ・中学校2年生
令和2年9月9日(水) ～令和2年9月25日(金)	・保育園(所)、認定こども園、幼稚園 を利用している乳幼児の保護者
第2回会議 令和2年11月27日(金)	・アンケートの集計結果について ・第3次羽生市子ども読書活動 推進計画素案の検討について
第3回会議 令和3年1月20日(水) ※新型コロナウイルス感染防止の観点 から書面会議による開催	・第3次羽生市子ども読書活動 推進計画(案)の検討について

第3次羽生市子ども読書活動推進計画

（令和3年3月発行）

発 行 羽生市教育委員会

担 当 羽生市教育委員会生涯学習部生涯学習課

〒348-8601 羽生市東6丁目15番地

TEL：048-561-1121

FAX：048-561-6562